

メンブトン散 フレーバー

動物用整胃腸薬



現場のニーズに応え
復活販売

Menbutone Flavor



胆汁・膵液の分泌を促進し、消化酵素を活性化

豚の十二指腸内にメンブトン製剤を投与した場合、胆汁分泌量は1.5 ～ 1.6倍、膵液分泌量は7.7倍に増加します。また、アミラーゼ活性が3.9 ～ 4.2倍、トリプシン活性は4.8 ～ 6.1倍に増加します⁽¹⁾。

1日増体量、飼料要求率を改善

メンブトン製剤は、飼料の消化に関与する胆汁及び膵液の分泌を増加させ、消化酵素の活性を高めることで、単純性下痢の臨床症状を改善し、結果として、1日増体量および飼料要求率を改善します⁽¹⁾。

離乳前後、肥育導入時に伴う下痢症を改善

単純性下痢症と診断された子豚に対して、メンブトン製剤を5日間連続投与したところ、3日間で72.2%、4日間で89.2%、5日間で96.9%の治癒率であり、メンブトン製剤の投与によって下痢症の改善が認められています。一方、無処置では、3日間で31.3%、4日間で53.0%、5日間で67.5%の治癒率でした⁽¹⁾。

(1) 獣医界 第122号 1983年3月